

## 都市計画の案の理由書

### 1. 種類・名称

東京都市計画道路 区画街路 板橋区画街路第 9 号線

### 2. 理由

大山駅周辺地区は、板橋区都市づくりビジョンにおいて、「都市づくり推進地区」に位置付けられており、「東武東上線の立体化の促進」、「駅前広場の整備とにぎわい・交流拠点の形成」、「バス利便性の向上」などの都市づくりの展開方針が示されている。また、平成 26 年 3 月に策定した「大山まちづくり総合計画」では、鉄道、バス、タクシー、自家用車、自転車、歩行者などの移動手段が異なる人々が円滑に地域を移動できるように、駅前広場の整備を中心とした交通結節点の強化を図ることは、今後の当地区の更なる発展のために不可欠な取り組みとしている。

一方、東京都では、踏切における交通渋滞や鉄道による地域分断等の問題を解決するため、平成 16 年 6 月に「踏切対策基本方針」を策定し、東武東上線の大山駅付近について、連続立体交差事業を進めていくこととしている。

当地区は駅を中心に商店街が形成されており、多くの自転車や歩行者が通行している。加えて、車両の通行が規制されている時間以外には、駅利用者のためのタクシーや一般車が流入し、接触事故が発生しているなど、歩行者の安全な通行を妨げている。また、当地区を東西に結ぶ補助線街路第 26 号線については、環状第 6 号線から東武東上線との交差部までが既に整備されており、この区間において、タクシーや一般車の路上駐停車が慢性的に発生しているため、交通の円滑化の妨げとなるほか、安全上においても課題となっている。これらの課題を踏まえ、連続立体交差事業にあわせて、交通の円滑化や歩行環境の改善による安全性の向上を図るため、交通広場（面積約 3,300 m<sup>2</sup>）を含む板橋区画街路第 9 号線（幅員 16m、延長約 20m）を決定するものである。